

『複言語・多言語教育研究』
第 10 号

目 次

理事長挨拶	刊行の辞	山崎 吉朗	1
特別寄稿	「10年続けばその次につながる」を合言葉に —JACTFL10年の活動の軌跡を振り返る—	中野 佳代子	5
	魅力的な外国語教育とは？ —外国語を教えない外国語教育—	當作 靖彦	67
理事寄稿	JACTFL10周年を迎えるにあたって		83
	ことば・文化・人をつないで —複言語・多言語教育の理念の実現をめざした 10年とこれから—	中野 佳代子	84
	JACTFL —10年成果と今後の課題—	吉田 研作	86
	初等・中等教育の複言語教育・複言語学習 の普及を目指して	臼山 利信	88
	JACTFL、未来に向けて	大森 洋子	90
	「これからの10年」に向けての抱負 —過去を振り返り、未来を展望する—	神谷 善弘	92
	多様な外国語教育のさらなる推進を目指して —学習成果の蓄積と可視化の重要性—	黒澤 眞爾	94
	JACTFLの10年と今後	境 一三	96
	日本語を含む多言語教育の推進	堀内 貴子	98
	シンパシーとエンパシーへ —JACTFLの次の10年に向けて—	水口 景子	100

	世界平和に資する人材を育成する複言語教育	茂木 俊浩	・・・・	102
	JACTFL10 周年に寄せて	八木 智裕	・・・・	104
	JACTFL 次期 10 年の未来図	山下 誠	・・・・	106
論考	複線径路等至性アプローチを活用した日本語学習者の省察活動の実践と効果	稲田 栄一	・・・・	108
	医療系大学における「複言語学習のすすめ」 —ICT 支援によるオンライン開講の試みと可能性—	岩居 弘樹	・・・・	124
	第二外国語としてのフランス語学習における 高大接続の可能性 —高等学校でフランス語を学ぶ／学んだ者たちへの 調査から—	野澤 督	・・・・	140
	高校での複言語教育の実践に関する教師の 自己省察 —独・仏・中 3 言語の教師へのインタビューから—	松木 瑤子	・・・・	154
	韓国の中学校・高等学校「中国語」教科書の 分析 —『2015 年改訂教育課程』に基づいて—	柳 素子	・・・・	169
報告	中学校における必修科目としての中国語の取 り組み —昭和女子大学附属昭和中学校 グローバル留 学コースの実践報告—	青木 隆浩	・・・・	185
	日中韓 5 大学連携による絵本読み聞かせプロ ジェクトのデザインと教師間の協働	澤邊 裕子 中川 正臣 植村 麻紀子 青森 剛 劉 星	・・・・	195
	観光教育とマルチメディア表現の学びに基づ く PBL による国際協同学習	杉江 聡子	・・・・	205
	学習の動機づけのための「あなたはなぜその 言語を学ぶのか」という教師からの問いかけの 意義 —ある留学生の一学期間の変容の考察に基づく 試論—	原 伸太郎	・・・・	215

	高校生による小学生のための多言語授業 —協働的実践による言語意識への効果—	吉村 雅仁 高谷 文也	・・・・	227
	「多様なコリアン」との対話から言語・国・文化・民族を問い直す	李 鉉淑	・・・・	237
	中等教育におけるメタ言語能力の育成を目指した複言語アプローチの外国語教育実践と省察	王 林鋒	・・・・	247
特集	第 10 回シンポジウム特別企画「高校生・大学生の取り組み」			
	複言語学習の可能性 —6 年間のフランス語学習から得た経験と未来への展望—	石橋 瑞葵	・・・・	258
	英語以外の外国語を学んだ生徒たちの声 —神奈川県立藤沢総合高等学校における、生徒インタビューの内容—	潮田 央 佐々木 亮太	・・・・	265
	言語意識を高める教育 —慶應義塾大学日吉キャンパスにおける試み—	刀根 亜星 岩本 拓弥 田宮 優華 舘 恒太郎 熊代 真幸	・・・・	274
書評	『多言語教育に揺れる近代日本「一外国語主義」浸透の歴史』 下絵津子著	境 一三	・・・・	284
JACTFL 第 10 回記念シンポジウム「外国語教育の未来(あす)を拓く」 ～持続可能な未来を創るための外国語教育～				
	シンポジウム実施要項		・・・・	290
	分科会報告 1 文部科学省委託「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」		・・・・	296
	分科会報告 2 多言語・複言語教育についての実践報告		・・・・	303
	総括コメント: 持続可能な未来を創るための外国語教育	白山 利信	・・・・	308